

科目名	エアラインサービスマナー						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	江口・濱崎		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	江口:国際線CAとして勤務 濱崎:国内線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年生						
授業概要	これからエアライン科の学生として学ぶ上で必要なマナーと身嗜み、ヘアメイクを学ぶ。本授業で基礎を学び、日々の学校生活の中で実践練習を積み、活かしてもらう。航空業界の受験に必要な基本的な素質の定着も図る。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			エアラインメイクが出来る。	
			○			社会人として基本的なマナー(特に立ち居振る舞い)を実際に行動化出来る。	
			○			就職試験での入退室のマナーを理解し、行動化出来る。	
		○				客室乗務員、グランドスタッフの基本業務を理解し、基本動作が出来る。	
		○			丁寧で美しい言葉遣いで自己アピール出来る。		
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	2	目標設定				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	3	挨拶の仕方・第一印象について				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	4	エアラインヘアメイクレッスン(ベースメイクの基礎)				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	5	エアラインヘアメイクレッスン(アイシャドウ・口紅の選び方)				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	6	エアラインヘアメイクレッスン(髪型のまとめ方)				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	7	エアラインヘアメイクレッスン(実戦練習・まとめ)				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	8	接客練習(挨拶の仕方)				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	9	接客練習(お辞儀の仕方)				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	10	面接の受け方(就職面接で重要視されること)				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	11	面接の受け方(入退室について)				授業内容に係る実技テストを実施するので、練習しておくこと(0.5時間)	
	12	面接の受け方(入退室、挨拶の仕方について)				授業内容に係る実技テストを実施するので、練習しておくこと(0.5時間)	
	13	客室乗務員の業務について				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	14	グランドスタッフの業務について				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
	15	自己表現の仕方				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)	
評価方法	・面接時における入退室の実技試験を行う(授業内) (チェック項目:第一印象・身嗜み・メイク・入退室方法・所作) ・数回、レポート課題をだす						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	入退室試験			○			80%
	提出物	○			○		20%
履修上の注意	スーツで参加。髪型、メイクを美しく整えて、授業に臨むこと。						

科目名	コミュニケーション技法						
科目名(英)	Communication						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小川 果		
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	コミュニケーションとは何か、より良いコミュニケーションのために大切なことは何かを理解する。言いたいこと、言うべきことを明確・簡潔に相手へ伝えることができるようになる。言語表現力を高めることにより、セルフエスティーム(自己肯定感)を向上し、新たな社会で生きていく自信をつける。社会での事象に関心を深く持ち、自分自身と社会を関連づけて考えることができるようになる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					1対1での対話がきちんとできる。	
	○					自らの意見・考え方・価値観を開示することができる。	
		○				人の話をしっかりと聞き、考え方や価値観の多様性を受容できる。	
		○				ニュースに関心をもち、社会的存在としての自分に気づくことができる。	
	○				自分とは何か、自分はどんな人間かをより深く考えることができる。		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会とは何か ― 社会とは？家庭とは？クラスとは？					
	2	何を学ぶか ― 何を手に入れたいか？コスト意識を持つ					
	3	コミュニケーション(1) ― マナー・返事・1対1で話す					
	4	コミュニケーション(2) ― 聞く・質問する					
	5	コミュニケーション(3) ― 相手の話を要約する					
	6	コミュニケーション(4) ― 実践報告					
	7	スピーチ(1) ― 「物」を媒介にして自分を伝える					
	8	スピーチ(1) ― 7講座の続き					
	9	スピーチ(2) ― 「言葉」を媒介にして自分を伝える					
	10	スピーチ(2) ― 9講座の続き					
	11	スピーチ(3) ― 「ニュース」を媒介にして自分を伝える					
	12	スピーチ(3) ― 11講座の続き					
	13	自己分析 ― あなたはどんな人ですか？					
	14	グループディスカッション ― テーマ未定					
15	再び、社会とは何か ― 社会人となるため留意するポイント						
評価方法	成績は下記の観点・割合で評価する (1)出席状況 (2)平常点(発表の回数) (3)技能点(各課題ごとに評価)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				◎		30%
	平常点(発表の回数)		○		◎		30%
	技能点	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	接客サービスマナー					
科目名(英)						
単位数	3	時間数	23	担当者	村上 舞	
実施年度	2020	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 1年					
授業概要	接客サービスマナー検定2級の取得 ビジネスマナーの基本を身につけ、就職活動に生かす サービススタッフとしての心構えを理解する					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					接客に使う敬語を使えるようになる
	○					接客に使う漢字を書くことができ、使えるようになる
	○	○				仕事をする上で電話をかけることができるようになる。
	○	○				時候の挨拶、頭語、結語を使った手紙が書けるようになる。
テキスト・教材 参考図書	清文社 接客サービスマナー検定 過去問題集 ウィネット 実践ビジネスマナー 課題プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	検定概要、オリエンテーション				
	2	会社組織の仕組み				
	3	言葉遣い 尊敬語				
	4	言葉遣い 謙譲語				
	5	言葉遣い 丁寧語			小テスト実施。対策しておくこと。	
	6	来客対応				
	7	電話対応				
	8	シチュエーション問題			小テスト実施。対策しておくこと。	
	9	手紙送付のマナー				
	10	慶弔時のマナー				
	11	贈答時のマナー				
	12	一般常識問題(サービス関連)① 漢字				
	13	一般常識問題(サービス関連)② カタカナ英語			小テスト実施。対策しておくこと。	
	14	模擬試験①				
	15	模擬試験②				
	16	模擬試験③				
	17	模擬試験④				
	18	模擬試験⑤				
	19	模擬試験⑥				
	20	模擬試験⑦				
	21	模擬試験⑧				
	22	模擬試験⑨				
23	定期試験対策					
(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						

評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	◎				30%
	宿題・レポート		◎		◎		20%
	発表・作品						
履修上の注意	<p>課題プリントがある場合は必ず解いておくこと。 出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。</p>						

科目名	エアライン入門						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2020年	実施時期	前期	担当者実務経験	国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	この授業では、昨今の航空業界の国際グローバル化に伴い現場で必要となる航空基礎知識を習得し、将来業界で活躍できる人材(人財)を育成する。また空港インターンシップとの連動することで実践の場を設け、具体的なスキルを身に付けていく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空関連業務の内容を学び、業界の概要を説明することができる。	
		○				航空業界で働くために必要な専門知識を習得し、実習や業界就職で活かすことができる。	
		○				業界で使用されるdocumentの基本となる時刻表が読めるようになる。	
				○		将来従事する職種を理解し、必要な知識だけでなく技能や心構えを持つことができる。	
テキスト・教材 参考図書	航空業界ガイドブック2019、サブノート、その他配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	導入(地理理解)、航空系の仕事について					
	2	空港の種類、2レター、主要空港コード、国際関係組織				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	3	アライアンス、スポット配置、業界用語				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	4	CIQ～税関の詳細				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	5	免税範囲、関税法				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	6	CIQ～出入国審査の詳細				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	7	旅券、査証				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	8	CIQ～検疫、WHO指定感染症				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	9	航空危険物				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	10	マニフェスト理解① AWB、DG				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	11	マニフェスト理解② GD				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	12	ケータリング(SPML、宗教理解)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	13	フォネテックアルファベット、航空無線				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	14	OAG				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
15	航空業界の目指す安全、学期総括						
評価方法	(1)授業の中で確認テストを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	◎		◎		30%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I A					
科目名(英)	Practical English I A					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	和田 菜穂	
実施年度	2020年	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系航空会社にて客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	航空業界では、接客業の最高峰としてどのようなお客様に対しても同じ高品質のサービスを提供する必要がある。英語でしかコミュニケーションがとれないお客さまの対応はもちろん、外資系航空会社のパイロットや客室乗務員(CA)との意思疎通は基本的に英語となるため、英語がわからない・使えないということでは、業務上の支障をきたすことになる。国内線・国際線のどちらで仕事をするかによっても英語を使う頻度は異なるが、航空業界で仕事をする場合はルールやレギュレーション、予約端末操作にわたり全て英語で行うことが求められ「英語はできて当たり前」である。将来業界で活躍できる人材(人財)に必要なとされる英語力に見合った力をつけることが重要であり、この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるTOEIC700点以上スコア取得を目指し、問題					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の要件や電話番号等が聞き取れる。 ・入国管理官に、滞り場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。
テキスト・教材 参考図書	新TOEICテスト書き込みドリルボキャブラリー編、リスニング編、Basic Reading Strategies for the TOEIC TEST 他					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	レベル分けテスト				
	2	TOEIC学習目標と出題形式、解法のテクニック Part5対策 ボキャブラリー WO			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	3	Part5対策 ボキャブラリー 前置詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	4	Part5対策 ボキャブラリー 接続詞 前置詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	5	Part5対策 ボキャブラリー 動詞、助動詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	6	Part5対策 ボキャブラリー 代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	7	Part5対策ボキャブラリー形容詞、副詞リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	8	Part5対策 ボキャブラリー 冠詞、序数			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	9	Part5対策 ボキャブラリー 比較級 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	10	Part5対策 ボキャブラリー 最上級			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	11	Part5対策 ボキャブラリー 形容詞、副詞、比較級、最上級 リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	12	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	13	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	14	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞、分詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	15	Part5対策 ボキャブラリー 関係代名詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	16	Part5対策 ボキャブラリー 関係副詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	17	Part7対策 ボキャブラリー 文法(仮定法) リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	18	Part7対策 ボキャブラリー 文法(仮定法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	19	Part7対策 ボキャブラリー 文法(話法) リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	20	Reading part5対策 ボキャブラリー			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	21	Reading Part5対策 ボキャブラリー リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
	22	Reading対策 ボキャブラリー Skimming Scanning			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)	
23	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策①解法説明			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)		

	24	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策②基本問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	25	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策③時間内に解く	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	26	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策④解法確認	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	27	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策⑤模擬問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	28	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策⑥応用問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	29	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策⑦模擬問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	30	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策⑧時間内に目標数解く	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	31	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策⑨まとめ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	32	Reading Part7対策 リスニングPart3対策①解法説明	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	33	Reading Part7対策 リスニングPart3対策②基礎問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	34	Reading Part7対策 リスニングPart3対策③時間内に解く	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	35	Reading Part7対策 リスニングPart3対策④応用問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	36	Reading Part7対策 リスニングPart3対策⑤模擬問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	37	Reading Part7対策 リスニングPart3対策⑥まとめ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	38	Reading Part7対策 リスニングPart4対策①解法説明	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	39	Reading Part7対策 リスニングPart4対策②基礎問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	40	Reading Part7対策 リスニングPart4対策③模擬問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	41	Reading Part7対策 リスニングPart4対策④応用問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	42	Reading Part7対策 リスニングPart4対策⑤模擬問題演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	43	Reading Part7対策 リスニングPart4対策⑥解放の再確認	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	44	Reading Part7対策 リスニングPart4対策⑦まとめ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
	45	定期試験対策 学期総括	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I A				
科目名(英)	Practical English I A				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	玉川 久美子
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科1年				
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会が必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
	○				
目標	文法、語法、語彙を学び、文章中の情報をもとに構文を理解することができる。 英語を聴くことに慣れ、意味を聞き取り、特定状況の中で使われるフレーズを学んでいく。 ビジネスの背景知識を身につけるためにも日頃から新聞、ニュースに触れることで、知識や一般常識を活用できるようにする。				
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 実用英語2級問題集、英語検定協会 過去問題 ・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	動機付け-英語レベル分けテスト			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	2	動機付け-英検2級能力判別テスト			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	3	解法ポイントの説明-リスニング、語彙・文法			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	4	解法ポイントの説明-リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	5	解法ポイントの説明-リスニング、英作文			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	6	解法ポイントの理解-リスニング、語彙・文法			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	7	解法ポイントの理解-リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	8	解法ポイントの理解-リスニング、英作文			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	9	総合模試対策①-リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	10	総合模試対策②-リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	11	総合模試対策③-リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	12	総合模試対策④-リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	13	まとめ&質疑応答			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	14	TOEIC動機付け-文章中の情報をもとに構文ポイントを理解			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	15	構文の説明-主述の一致、格、時制、態、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	16	構文の説明-前置詞、接続詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	17	構文の説明-準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	18	構文の説明-不定詞、動名詞、分詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	19	構文の理解-不定詞、動名詞、分詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	20	構文の説明-慣用表現、形容詞、副詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	21	構文の理解-慣用表現、形容詞、副詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	22	構文の説明-語法、構文、比較、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	23	構文の説明-関係詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	24	情報を関連づけての読み取り①-リスニング、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	25	情報を関連づけての読み取り②-リスニング、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	26	情報を関連づけての読み取り③-リスニング、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)

	27	情報を見つけて意味を理解①-リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	28	情報を見つけて意味を理解②-リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	29	同義語を理解して言い換え表現ができること①	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	30	同義語を理解して言い換え表現ができること②	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	31	総合模試対策①-限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	32	総合模試対策①-限られた時間範囲で問題を解く(解説)	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	33	総合模試対策①-限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	34	総合模試対策②-限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	35	総合模試対策②-限られた時間範囲で問題を解く(解説)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	36	総合模試対策②-限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	37	総合模試対策③-限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	38	総合模試対策③-限られた時間範囲で問題を解く(解説)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	39	総合模試対策③-限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	40	総合模試対策④-限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	41	総合模試対策④-限られた時間範囲で問題を解く(解説)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	42	総合模試対策④-限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	43	総合模試対策⑤-限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	44	総合模試対策⑥-限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	45	まとめ&質疑応答	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語 I A					
科目名(英)	Practical English I A					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	安元 千夏	
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められるため、基礎力の向上を目指す。英語運用能力を測る代表的な資格として、実用英語検定準2級の取得を目標とする。またTOEIC400点以上取得を目指し、分野別問題解法ポイントを習得していく。日常英会話に留まらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの英語力を持つ人材となることを目指す。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				高校中級程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。
	○	○				会話文・アナウンスの聞き取りを強化し、リスニング力を身に付ける。
	○	○				基本構文を用いた文章作成能力を高め、英作文力を身に付ける。
	○	○				ビジネス英語の基本語彙を身に付け、TOEIC頻出単語を覚える。
	○	○				通常会話で最低限のコミュニケーションをとることができるリスニング力を身に付ける。
テキスト・教材 参考図書	・英検準2級7日間達成予想問題ドリル ・TOEIC全パート入門書き込みドリル					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	クラス分けテスト①(英検準2級、2級混合テスト)			無し	
	2	クラス分けテスト②(英検準2級テスト)			無し	
	3	語彙問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	4	会話文問題、長文問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	5	長文問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	6	語彙問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	7	会話文問題、英作文対策、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	8	長文問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	9	語彙問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	10	会話文問題、英作文対策、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	11	長文問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	12	模擬試験①			模試の復習(1時間)	
	13	模擬試験②			模試の復習(1時間)	
	14	TOEIC概要説明、part5基礎			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	15	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	16	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(重要文法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	17	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	18	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(模擬問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	19	TOEIC part6基礎、リスニングpart1対策(解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	20	TOEIC part6基礎、リスニングpart1対策(重要文法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	21	TOEIC part6基礎、リスニングpart1対策(問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	22	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	23	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(重要文法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	24	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	25	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(基礎問題演習②)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
26	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(応用問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)		

27	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(応用問題演習②)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
28	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(模擬問題演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
29	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(模擬問題演習②)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
30	TOEIC part5応用、リスニングpart3対策①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
31	TOEIC part5応用、リスニングpart3対策②	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
32	TOEIC part5応用、リスニングpart3対策③	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
33	TOEIC part6応用、リスニングpart4対策①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
34	TOEIC part6応用、リスニングpart4対策②	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
35	TOEIC part7応用、リスニングpart4対策①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
36	TOEIC part7応用、リスニングpart4対策②	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
37	模擬試験①(リスニング)	模試の復習(1時間)					
38	模擬試験①(リーディング)	模試の復習(1時間)					
39	模擬試験②(リスニング)	模試の復習(1時間)					
40	模擬試験②(リーディング)	模試の復習(1時間)					
41	TOEIC総復習、受験時の注意	模試の復習(1時間)					
42	語彙問題、リスニング	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
43	会話文問題、長文問題、リスニング	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
44	長文問題、リスニング	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
45	前期まとめ、期末試験について	授業の復習(1時間)					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語 I A					
科目名(英)	Practical English I A					
単位数	6	時間数	90時間	担当者	村上 舞	
実施年度	2020	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 1年					
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○	○				目標
	○	○				時制や現在完了、受動態などの文法を理解し、説明することが出来る。
	○	○				会話、アナウンスを聞き取ることが出来る。
	○	○				基本構文を用いた文章作成をし、英検2級レベルの英作文を書くことが出来る。
						ビジネス英語の基本語彙を使った英文を読み取ることが出来る。
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去問題集 TOEICリーディングストラテジー、TOEIC公式問題集など					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	英検準2級チェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	2	英文法① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	3	英文法② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	4	英文法③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	5	重要名詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	6	重要名詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	7	重要動詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	8	重要動詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	9	重要形容詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	10	重要副詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	11	覚えておきたい接頭語、接尾語 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	12	重要前置詞とフレーズ① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	13	重要前置詞とフレーズ② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	14	重要前置詞とフレーズ③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	15	重要前置詞とフレーズ④ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	16	不定詞と動名詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	17	関係詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	18	ライティング対策① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	19	ライティング対策② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	20	中間テスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	21	英検2級振り返り TOEICチェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	22	TOEIC対策 品詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	23	TOEIC対策 品詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	24	TOEIC対策 品詞③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
	25	TOEIC対策 代名詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)	
26	TOEIC対策 関係代名詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)		

	27	TOEIC対策 関係代名詞② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	28	TOEIC対策 接続詞、前置詞① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	29	TOEIC対策 接続詞、前置詞② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	30	TOEIC対策 動詞① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	31	TOEIC対策 動詞② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	32	TOEIC対策 表、用紙 リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	33	TOEIC対策 手紙、Eメール リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	34	TOEIC対策 広告 リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	35	TOEIC対策 ダブルパッセージ① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	36	TOEIC対策 ダブルパッセージ② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	37	TOEIC対策 part5演習① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	38	TOEIC対策 part5演習② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	39	TOEIC対策 part5演習③ リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	40	TOEIC対策 part6演習① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	41	TOEIC対策 part6演習② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	42	TOEIC対策 part6演習③ リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	43	TOEIC対策 part7演習① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	44	TOEIC対策 part7演習② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	45	TOEIC対策 part7演習③ リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語 I A					
科目名(英)	Practical English I A					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	中山 久豪	
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められているため、基礎力の向上を目指す。英語運用能力を測る代表的な資格として、実用英語検定3級、準2級の取得を目標とする。またTOEIC受験において、分野別問題解法ポイントを習得する。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				中学卒業程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。
	○	○				会話文・アナウンスの聞き取りを強化し、リスニング力を身に付ける。
	○	○				基本構文を用いた文章作成能力を高め、英作文力を身に付ける。
	○	○				英検3級、準2級頻出単語を覚え、意味を正しく捉えることができる。
テキスト・教材 参考図書	過去問題、プリント、くもんの中学英語基礎固め100%					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	クラス分けテスト①(英検準2級、2級混合テスト)			無し	
	2	クラス分けテスト②(英検準2級テスト)			無し	
	3	英検3級対策(リスニング、語彙・文法: 解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	4	英検3級対策(リスニング、長文読解: 解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	5	英検3級対策(リスニング、語彙・文法: 基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	6	英検3級対策(リスニング、長文読解: 基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	7	英検3級対策(リスニング、語彙・文法: 応用問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	8	英検3級対策(リスニング、長文読解: 応用問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	9	英検3級対策(リスニング、語彙・文法: 過去問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	10	英検3級対策(リスニング、長文読解: 過去問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	11	模擬試験①			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	12	模擬試験②			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	13	模擬試験③、対策まとめ・質疑応答			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	14	一次試験の振り返り、二次試験対策				
	15	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法: 解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	16	英検準2級対策(リスニング、長文読解: 解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	17	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法: 基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	18	英検準2級対策(リスニング、長文読解: 基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	19	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法: 応用問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	20	英検準2級対策(リスニング、長文読解: 応用問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	21	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法: 過去問題①演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	22	英検準2級対策(リスニング、会話文: 過去問題①演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	23	英検準2級対策(リスニング、長文読解: 過去問題①演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	24	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法: 過去問題②演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	25	英検準2級対策(リスニング、会話文: 過去問題②演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
26	英検準2級対策(リスニング、長文読解: 過去問題②演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)		

	27	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題③演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	28	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題③演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	29	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題③演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	30	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	31	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	32	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	33	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	34	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	35	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	36	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	37	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	38	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	39	英検準2級模擬試験	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	40	TOEIC概要、各Partの解き方について	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	41	TOEIC概要、各Part問題演習	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	42	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	43	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法、会話文)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	44	英検準2級対策(リスニング、長文読解)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	45	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法、長文読解)	授業の復習(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	15時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語力の土台となる品詞に対する理解を深め、TOEICのPart5と6の問題へのアプローチ方法を学び、実践での対応力を培っていく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。	
	○		○			TOEIC600点レベルの単語を覚え、品詞・意味を答えることができる。	
		○				TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:アルク「TOEICに出る英文法出るとこだけ!」、桐原書店「TOEICテスト書き込みドリル」、アスク出版「TOEIC L&Rテスト文法問題でる1000問」など						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要、ボキャブラリーコンテストの説明、基本品詞の確認				英語辞書を準備しておくこと。	
	2	品詞① - 4大品詞:名詞・動詞				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	3	品詞② - 4大品詞:形容詞・副詞				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	4	TOEIC Part5演習 - 品詞問題				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	5	動詞① - 動詞の役割、主述の一致				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	6	動詞② - 不定詞と動名詞				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	7	動詞③ - 態、時制				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	8	TOEIC Part5演習 - 動詞問題				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	9	品詞③ - 前置詞と接続詞				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	10	TOEIC Part5演習 - 前置詞・接続詞問題				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	11	TOEIC Part5・6問題演習① - どの出題パターンかを判断する				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	12	TOEIC Part5・6問題演習② - 解法をすぐに判断する				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	13	TOEIC Part5・6問題演習③ - 時間内に目標数を解く				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	14	第1回ボキャブラリーコンテスト、TOEIC Part5・6問題演習④				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
15	総復習				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ボキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	英語辞書 プリント田ファイルを準備しておくこと 必ず 全ての小テストを受験すること						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	野々村 賢一		
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語基本文法の復習を行い、英検やTOEICで活用できるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				高校中級程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。	
	○		○			TOEIC頻出単語300語を覚え、意味を正しく選択できる。	
		○				適切な文法と語彙を用いて、英作文を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト TOEIC新公式問題集 朝日新聞出版『TOEIC®L&R TEST出る単特急 金のフレーズ』						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス、自己紹介、Part 1の概要				特になし。	
	2	Part1の導入・解き方 出題傾向を把握しよう				特になし。	
	3	Part 1の練習問題 Part 5の導入				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	4	新公式Part 1の練習問題 Part 5:品詞の練習問題(名詞・形容詞編)				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	5	新公式Part 1の練習問題 Part 5:品詞の練習問題(副詞編)				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	6	Part 2の導入・練習問題・出題傾向 Part 5:品詞のまとめ問題				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	7	Part 2:疑問詞疑問文 Part5:練習問題(動詞の問題)				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	8	Part 2:勧誘依頼の疑問文 Part5:練習問題(動詞の問題2)				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	9	Part 2:Yes/No疑問文 Part 2まとめのテスト				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	10	新公式Part 2の練習問題 Part 7の導入・練習問題・出題傾向				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	11	Part 3の導入・出題傾向・練習問題 Part 7の練習問題				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	12	Part 3の練習問題 Part 7の練習問題				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	13	Part 4の導入・出題傾向・練習問題 Part 7の練習問題				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	14	Part 4の練習問題 Part 7の練習問題				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	15	前期のまとめ				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ポキャプラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ポキャプラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	安元 千夏		
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語基本文法の復習を行い、英検やTOEICで活用できるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				高校中級程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。	
	○		○			TOEIC頻出単語300語を覚え、意味を正しく選択できる。	
		○				適切な文法と語彙を用いて、英作文を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	南雲堂『First Primer revised edition』、朝日新聞出版『TOEIC®L&R TEST出る単特急 金のフレーズ』、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト				特になし。	
	2	シラバス配布、ボキャブラリーコンテスト説明、be動詞				特になし。	
	3	単語テスト①、be動詞、一般動詞(現在)				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	4	単語テスト②、一般動詞(過去)				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	5	単語テスト③、進行形				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	6	単語テスト④、未来形				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	7	単語テスト⑤、助動詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	8	単語テスト⑥、これまでの復習				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	9	単語テスト⑦、名詞・冠詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	10	単語テスト⑧、代名詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	11	単語テスト⑨、前置詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	12	単語テスト⑩、形容詞・副詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	13	単語テスト⑪、品詞のまとめ				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	14	第1回ボキャブラリーコンテスト、まとめ問題演習				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
15	前期のまとめ				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ボキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	2	時間数	30	担当者	江口美奈子		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	元国際線CAとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語基本文法の復習を行い、英検やTOEICで活用できるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				高校中級程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。	
	○			○		TOEIC頻出単語200語を覚え、意味を正しく選択できる。	
		○				適切な文法と語彙を用いて、英作文を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	南雲堂『基礎からの英語入門 First Primer』、朝日新聞出版『TOEIC®L&R TEST出る単特急 金のフレーズ』、						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェックテスト			特になし。		
	2	シラバス配布、ボキャブラリーコンテスト説明、be動詞			特になし。		
	3	単語テスト①、be動詞、一般動詞(現在)			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	4	単語テスト②、一般動詞(過去)			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	5	単語テスト③、進行形			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	6	単語テスト④、未来形			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	7	単語テスト⑤、助動詞			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	8	単語テスト⑥、これまでの復習			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	9	単語テスト⑦、名詞・冠詞			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	10	単語テスト⑧、代名詞			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	11	単語テスト⑨、前置詞			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	12	単語テスト⑩、形容詞・副詞			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	13	単語テスト⑪、品詞のまとめ			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	14	第1回ボキャブラリーコンテスト、まとめ問題演習			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
15	前期のまとめ			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ボキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	日高 郁子		
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語基本文法の復習を行い、英検やTOEICで活用できるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				高校中級程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。	
	○			○		TOEIC頻出単語200語を覚え、意味を正しく選択できる。	
		○				適切な文法と語彙を用いて、英作文を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	南雲堂『基礎からの英語入門 First Primer』、朝日新聞出版『TOEIC®L&R TEST出る単特急 金のフレーズ』、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト				特になし。	
	2	シラバス配布、ボキャブラリーコンテスト説明、be動詞				特になし。	
	3	単語テスト①、be動詞、一般動詞(現在)				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	4	単語テスト②、一般動詞(過去)				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	5	単語テスト③、進行形				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	6	単語テスト④、未来形				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	7	単語テスト⑤、助動詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	8	単語テスト⑥、これまでの復習				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	9	単語テスト⑦、名詞・冠詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	10	単語テスト⑧、代名詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	11	単語テスト⑨、前置詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	12	単語テスト⑩、形容詞・副詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	13	単語テスト⑪、品詞のまとめ				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	14	第1回ボキャブラリーコンテスト、まとめ問題演習				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	15	前期のまとめ				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ボキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	SPI対策 I A						
科目名(英)	Preparation for Synthetic Personality Inventory I A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎・安元・村上・合力・松藤		
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界への就職試験では、多くの企業でテストセンターやWEBテスト、ペーパーテスト等の適性検査が実施されている。その際、制限時間内に正確な解答を導き出す力が必要である。この授業では、SPI非言語分野の頻出テーマをとりあげ、その解き方を学ぶ。また、近年多く実施されているWEBテストでの四則逆算問題対策として、この授業では時間内に目標数の四則演算問題を解けるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					SPI非言語分野頻出テーマの基本的な解き方を学び、覚える。	
		○				各問題に対する基本的な解き方を覚えた上で、応用問題にも活用できる。	
		○				四則演算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
		○				SPI非言語分野頻出テーマの基本的な解き方を他者に対して説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	教材:オリジナルプリント 参考図書:新星出版「本気で内定! SPIテストセンター1200題」、ナツメ社「史上最強SPI&テストセンター超実戦問題集」 学研教育出版「SPI3をひとつひとつわかりやすく」、羊泉社「これが本当のSPI3だ!」						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1回レベルチェック(クラス分け)テスト				特になし。	
	2	速さ(基本公式の確認・速さの変換)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(0.5時間)	
	3	速さ(往復の速さ・応用問題)、旅人算(基本公式の確認)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	4	旅人算(出会い算・追いかかけ算応用問題)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	5	場合の数・確率				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	6	確率・集合				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	7	前半範囲のまとめ				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	8	第2回レベルチェック(クラス分け)テスト				速さ～集合の範囲まででテストを実施する為、復習をしておくこと。(3時間)	
	9	仕事算				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	10	代金精算・割引料金				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	11	損益算(基本用語・公式の確認、基礎問題演習)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	12	損益算(応用問題)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	13	推論(正誤判断・順番推理)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	14	推論(内訳推理・密度/濃度)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
	15	前期範囲のまとめ				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)	
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題を課す。 (3)中間テストとして、第2回レベルチェックテストを実施する。(4)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				75%
	中間テスト (第2回レベルチェックテスト)	◎	◎				15%
	宿題・確認テスト	○			◎		10%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	日本語表現						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	<p>「言葉」と一言でいっても、話す言葉や書く言葉などの様々な種類の言葉が存在する。各場面に応じた言葉の遣い方やマナーがあり、言葉はその人の人格や品位までもを表すといわれている。その為、語彙力を鍛え、日本語を正しく理解して状況に応じて遣い分ける力が必要となる。この授業では、空港インターンシップや就職活動での言葉遣いを意識しながら、丁寧な日本語の表現方法を理解し、活用できるようになることを目指す。また、航空業界の就職試験に頻出の漢字やことわざを覚え、書き取りや意味の選択ができるようになる。</p>						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				一般常識問題として頻出の漢字や熟語、ことわざ、慣用句を覚え、意味を説明できる。		
		○			話し言葉と書き言葉の違いを理解し、文章を訂正することができる。		
		○			敬語の遣い方を覚え、正しい表現を選択し活用することができる。		
		○	○		1冊の本を読み、そこから得た学びを自分の言葉で表現することができる。		
テキスト・教材 参考図書	<p>テキスト:オリジナルプリント 参考図書:日本経済新聞出版社「言葉にできるは武器になる」、SBクリエイティブ「大人の語彙カノート」、角川新書「語彙力こそが教養である」、宝島社「語彙力練習帳」、日本実業出版社「文章力の基本の基本」</p>						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス配布、授業概要・確認テスト・言葉ノートについての説明			特になし。		
	2	確認テスト①、本を読む習慣づくり、言葉の遣い方で与える印象の違い			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	3	確認テスト②、言葉遣いの基礎知識			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	4	確認テスト③、人生に影響を与えた言葉①グループワーク			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	5	確認テスト④、人生に影響を与えた言葉②クラス代表者発表			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	6	確認テスト⑤、敬語のルール			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	7	確認テスト⑥、状況に応じた敬語の遣い方			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	8	確認テスト⑦、クイズで育てる言葉力			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	9	確認テスト⑧、間違いやすい日本語表現①慣用句・ことわざ			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	10	確認テスト⑨、間違いやすい日本語表現②敬語・言い回し			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	11	確認テスト⑩、ことわざ・名言を用いた自己分析			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	12	確認テスト⑪、自分を言葉で表現する			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	13	確認テスト⑫、座右の銘・モットーとなる言葉①グループワーク			確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)		
	14	座右の銘・モットーとなる言葉②クラス代表者発表			事前課題に取り組むこと。(1時間)		
	15	前期まとめ、日本語表現・一般常識クイズ大会			授業で学んだ範囲を復習しておくこと。(1時間)		
評価方法	<p>(1)授業の中で小テストを12回実施する。80%の正答率で合格とし、不合格者には再テストを実施する。前期末に得点の総合ランキングを発表し、上位者を前期終了時に表彰する。 (2)数回、レポート課題を実施する。 (3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	確認テスト	◎			○		20%
	レポート提出				◎		10%

履修上の注意	確認テストは、定期試験実施日までに全てを合格すること。空港実習等で確認テストを受験できない人は、必ず事前に申し出ること。別対応(朝、もしくは放課後の時間帯)で実施をする。						

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	空港にて国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	目標		
	○				漢字検定準2級程度の漢字までの読み書きができる		
	○				方程式・因数分解などの問題を理解し解答することができる		
	○				英検準2級程度の問題に解答することができる		
	○				日本をはじめとした主要国の地理や政治における基礎的な内容を理解し説明ができる		
テキスト・教材 参考図書	「専門学校生のための一般常識トレーニング」 一ツ橋出版 第4版 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目概要・シラバス説明				次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)	
	2	ROUND1:漢字の知識、英語(動詞の活用変化)、主な国際機関について、時事用語				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	3	ROUND2:社会(環境問題、選挙について、国内政治について、宗教)、漢字の知識				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	4	第1回実力テスト ROUND2:英語(英文書き換え)、敬語表現、文学史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	5	ROUND3:英語(単語の知識)、社会(憲法に関して、思想)、国語(漢字の知識、四字熟語)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	6	ROUND4:社会(歴史、国際連合について)、文学史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	7	ROUND4:社会(歴史、地理)、計算問題(分数) ROUND5:国語(漢字の知識)、時事問題				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	8	ROUND5:社会(世界の発明家について)、英語(動詞の活用変化、時制、仮定法) ROUND6:主な国際機関、英語(空所補充)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	9	ROUND7:国語(四字熟語)、社会(各国の歴史と現在の状況、名言、名句) ROUND8:国語(ことわざ)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	10	ROUND8:社会(天皇の国事行為について、内閣について、歴史)、英語(単語の知識) ROUND9:英語(熟語の知識)、時事問題、数学(損益算)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	11	ROUND9:社会(歴史、国内経済)、数学(指数、割合)、英語(空所補充)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	12	第2回実力テスト ROUND10:英語(単語の知識)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	13	ROUND10:社会(経済)、数学($\sqrt{\quad}$ の計算)、国語(漢字の知識)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	14	ROUND10:社会(各国の歴史と現在の状況)、英語(空所補充)、時事問題				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
15	ROUND1~10のまとめ				試験範囲の部分の復習(1.5時間)		
評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト (3)出席状況 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○		○		80%
	小テスト(筆記・2回)	◎	○		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	Word 演習						
科目名(英)	Word						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山田 智子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	パソコンの基本になるマウスの正しい操作方法や文字の入力を学習する。入力に関しては、タッチタイピング(キーボードを見ないで文字入力)をすることが実務で必要になるので、タイプクイックソフトを使いマスターする。また、文字入力は後期に学習する航空券の発券業務に必要なとなるので、ヘボン式のローマ字入力を正確に学ぶ。テキスト「30時間でマスター Word2016」を使って一般的なビジネス文書(社内文書・社外文書)や表の作成方法を学習する。ビジネス文書作成上のマナーを学習する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				マウス(パソコンの基本操作)を正しく操作できる。	
			○	○		キーボードを見ないで文字入力ができる。	
		○	○			ヘボン式ローマ字で文字入力ができる。	
	○					ビジネス文書の社外文書と社内文書の違いを説明することができる。	
	○	○			ビジネス文書作成に必要な文字入力や編集機能を効率的に操作できる。		
テキスト・教材 参考図書	タイプクイック 30時間でマスター Word2016						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要の説明とパソコンの基本操作					
	2	タイプクイックの設定と操作			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	3	タイプクイック・Word2016の基本操作			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	4	タイプクイック・Word_ローマ字入力			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	5	タイプクイック・Word_いろいろな文字入力			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	6	タイプクイック・Word_効率的な文字の訂正			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	7	Word_文章入力・入力練習問題・タイプクイック成績提出			テキスト記載の実習問題6~17を完成させる(1時間)		
	8	文字編集機能・入力速度テスト(小テスト1回目)			テキスト記載の実習問題6~17を完成させる(1時間)		
	9	文書作成_社内文書の作成・社内文書の特徴について			テキスト記載の実習問題18を完成させる(1時間)		
	10	文書作成_社外文書の作成と作表・社外文書の特徴について			テキスト記載の実習問題19を完成させる(1時間)		
	11	文書作成_画像・テキストボックスの挿入・文書作成練習問題			テキスト記載の実習問題20~22を完成させる(1時間)		
	12	文書作成テスト(小テスト2回目)・作表機能の学習					
	13	オブジェクトを含んだ文書作成_画像の挿入と編集・ワードアート			テキスト記載の実習問題24を完成させる(1時間)		
	14	オブジェクトを含んだ文書作成_図形描画			テキスト記載の実習問題25,27を完成させる(1時間)		
15	期末実技試験						
評価方法	(1)タイプクイックの成績提出(Lesson6まで、正解率95%以上)とタッチタイプの習得。 (2)授業内容の把握状況を確認する小テスト(入力・文書作成)を2回実施する。 (3)課題提出テキスト「30時間でマスター Word2016」内の入力練習文・ビジネス文書作成の練習問題の8割以上。(最終授業終了時にメモリ提出。期限までに提出することも評価条件に含む。) (4)作表や画像を含む文書作成の実技問題を期末試験とする。 成績評価基準は、成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(実技)	○	◎	◎			50%
	タイプクイックとタッチメソッド			◎	◎		10%
	小テスト	○	○	◎			20%
	課題提出		○	◎	◎		20%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、評価はDとする。
タッチメソッドは継続したトレーニングによって習得できる物なので、毎日15～20分程度の自主トレーニングが必要である。
公欠でテスト(小テストを含む)を受験できない場合は前もって講師に相談すること。

科目名	ペン字						
科目名(英)	Penmanship						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	入江 陽子		
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験	書道講師歴36年		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・航空業界で働く者として、日常生活における硬筆書写の一般知識・理解を深め、業務遂行時に実践できる基礎力を習得する。 ・正しいペンの持ち方・姿勢を守り、書写することにより集中力を身につける。 						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					正しい言語づかいで、自分の履歴書を書くことができる。	
			○			書式に従って、美しい文字で書写することができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ペン字基本 ― 氏名練習、履歴書書式			ボールペンの練習をしておくこと。(0.5時間)		
	2	ペン字基本 ― 基本点画			氏名の練習を復習しておくこと。(0.5時間)		
	3	ペン字基本 ― 基本点画・筆順			基本点画を復習しておくこと。(0.5時間)		
	4	ペン字基本 ― 字形の整え方、字形24体			筆順を復習しておくこと。(0.5時間)		
	5	ペン字基本 ― 字形の整え方、へんとづくり			字形の整え方を復習しておくこと。(0.5時間)		
	6	ペン字基本 ― 平仮名の字源、片仮名			平仮名の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	7	履歴書 ― 履歴書を体裁よく書くコツ			履歴書の必要事項を調べておくこと。(0.5時間)		
	8	履歴書 ― 履歴書ペン書き練習			履歴書の下書きを仕上げしておくこと。(1時間)		
	9	履歴書 ― 横書きを美しく書く為のコツ・清書			履歴書ペン書きをしておくこと。(1時間)		
	10	実用書 ― 筆ペンの用筆・基本点画			履歴書清書を提出できるようにしておくこと。(2時間)		
	11	実用書 ― 七夕短冊・芳名帳			基本点画を復習しておくこと。(0.5時間)		
	12	実用書 ― のし書きの書式			氏名の練習をしておくこと。(0.5時間)		
	13	実用書 ― はがき(暑中見舞)、封筒の書式			筆ペンに書きなれておくこと。(0.5時間)		
	14	就活にむけて ― 求職票の書式			自己紹介文を考えておくこと。(1.5時間)		
15	就活にむけて ― エントリーシートの書き方			苦手な文を考えておくこと。(1時間)			
評価方法	(1)授業の中で清書した履歴書を試験の代わりとして評価する。 (2)数回、課題を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	履歴書	○		◎			80%
	提出物	○	○		◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	社会教養 I A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	宮崎・安元・村上		
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	クラス運営を行う中で必要な役割があることを学び、委員会活動を通して、「自ら考え、工夫をして行動する力」を養う。クラスメイトや担任といった身近な人の為に何ができるのかを日頃から意識して行動できるように、どういった意識で生活すべきかを知る。また、後期に始まる就職活動準備に向けて、スケジュールや自己分析の仕方などを学ぶ。						
授業形式	講義： △	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		各委員会の活動内容を理解し、担任の指示がなくても行動できる。	
		○		○		自身で目標を設定し、達成に向けた行動を心がけることができる。	
		○		○		東京研修事前課題において、グループで協力して資料作成をし、発表することができる。	
				○		提出期限を遵守することができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	クラス内オリエンテーション				特になし。	
	2	目標設定・クラス内委員会活動について				目標を考えてくること。(0.5時間)	
	3	1・2年生交流会				先輩への質問事項を考えてくること。(0.5時間)	
	4	東京研修について(事前課題への取り組み)				特になし。	
	5	就職活動準備について ①就職スケジュール、試験内容の確認				希望職種の試験スケジュールを調べてくること。(0.5時間)	
	6	就職活動準備について ②自己分析				特になし。	
	7	東京研修事前課題発表会				各グループで発表準備を行うこと。(1.5時間)	
	8	就職活動準備について ③自己PR、職種志望動機作成について				特になし。	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)前期中に3回作文を提出する。(2)東京研修事前課題を行う(資料作成・プレゼンテーション)。(3)数回、提出物を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作文提出	○			○		70%
	東京研修事前課題		○		○		20%
	提出物				○		10%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	GCB I						
科目名(英)	Global Citizen Basic I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	安元・宮崎・村上		
実施年度	令和2年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえで“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまふ“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		自ら考え、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンを目指そう			振り返りレポートの作成(1時間)		
	2	「協働」の態度を持った学生生活			振り返りレポートの作成(1時間)		
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～			振り返りレポートの作成(1時間)		
	4	マナーの本質 I			振り返りレポートの作成(1時間)		
	5	マナーの本質 II			振り返りレポートの作成(1時間)		
	6	グローバルシティズンとしての日常			振り返りレポートの作成(1時間)		
	7	グローバルシティズンとしての目標			振り返りレポートの作成(1時間)		
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて			振り返りレポートの作成(1時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。						